



令和元年度土木学会西部支部技術発表会
～ 新技術・新工法・新材料などに関する発表会 ～

1. 主 催 : 公益社団法人 土木学会西部支部
2. 後 援 : 一般社団法人 九州橋梁・構造工学研究会,
一般社団法人 建設コンサルタンツ協会九州支部,
公益社団法人 地盤工学会九州支部,
公益社団法人 日本コンクリート工学会九州支部,
一般社団法人 日本建設業連合会九州支部
3. 日 時 : 令和元年 12 月 16 日(月) 13:00-17:00 (開場:12:30)
4. 会 場 : アクロス福岡 606 会議室(〒810-0001 福岡市中央区天神 1-1-1)
5. 参加費 : 2,000 円(会員), 5,000 円(非会員)(講演概要集代を含む)を当日徴収します。
6. 土木学会 継続教育(CPD)プログラム 3.2 単位 (認定番号 JSCE19-1537).

【プログラム】

13:00-13:10 開会挨拶

■セッション1

- | | | |
|-------------|---|---|
| 13:10-13:35 | 「SLVアンカーの効果について」～追従拡張機能、施工確実性を有した安全確立型のあと施工アンカーの説明～ | 株式会社 タチバナ
久保田耕作 |
| 13:35-14:00 | 水位情報に基づく洪水氾濫解析による洪水流量と浸水域の推定
～平成29年7月九州北部豪雨時の花月川を対象にして～ | 九州工業大学大学院
桂 佑樹 |
| 14:00-14:25 | Overstress model based on extended subloading surface model
(拡張下負荷面モデルに基づく超過応力モデル) | MSCソフトウェア(株)
Koichi Hashiguchi (橋口 公一) |
| 14:25-14:50 | 下水中の硫化水素発生を抑える下水道管劣化の防止技術 | 九州産業大学
羽田野 袈裟義 |

14:50-15:10 <休憩>

■セッション2

- | | | |
|-------------|---|----------------------|
| 15:10-15:35 | 山岳トンネル工事における生産性向上に向けた取組み | 大林組
原口 雄人 |
| 15:35-16:00 | アクティブRFIDタグを利用した工事現場での
重機接近データ分析の有用性 | 北興産業株式会社
澤田 朋哉 |
| 16:00-16:25 | 水位データと1次元混合砂礫河床変動モデルを用いた
水面形・流量・河床位・流砂量・粒度分布の推定技術の開発 | 九州工業大学大学院
金屋 諒 |
| 16:25-16:50 | 技術者としてのバランス的・システムの考え方 | 日進コンサルタント(株)
鐘 廣喜 |

16:50-17:00 閉会挨拶

(敬称略・発表者のみ掲載)